

がんばれ 倉吉 復興の願いを込めて ～倉吉農業高等学校生徒が門松を寄贈～

平成28年12月21日（水）、鳥取県立倉吉農業高等学校環境科緑地環境コース生徒12名が倉吉市役所を訪れ、西玄関に学習の中で製作した門松を設置してくださいました。

門松は青竹と千両・南天・葉ボタン・アカマツ等で飾られています。青竹の伐り出し作業から始まり、のこぎりやかんなを使いながら切り口を自分達で加工していきます。葉ボタンも自分達で育てたものを使用しています。

この門松の製作は、ガーデニング・総合実習の授業の中で学習した造園緑化材料・技術を用い、地域文化の伝承と地域のみなさんに倉吉農業高等学校の学習内容を理解していただくために取り組んでおられます。

8年目となる今年も、倉吉市役所・市立図書館といった市の施設だけでなく、倉吉駅前や中部地区のすべての中学校にも門松が寄贈され1月13日まで設置されます。

生徒代表から、「復興の願いを込めてみんなで一生懸命つくりました。これを見て市民の皆さんが元気になってくれればと思います。」と思いますが、倉吉市教育委員会学校教育課長からは、「毎年、立派な門松を寄贈していただき感謝します。きっと、市民の皆さんが門松を見られて元気になられると思います。皆さんの思いを感じながら正月を迎えたいと思います。」と感謝の気持ちが伝えられました。

